

校名等検討部会報告資料

校名候補の選定について

1 これまでの校名等検討部会での協議経過

(1) 第1回校名等検討部会

日 時：令和7年10月8日(水) 19時00分～20時55分

会 場：上村公民館 大会議室(西側)

出席者：酒井 郁雄 部会長、村山 雅也 副部会長、小澤 倫太郎 委員、

小池 真沙美 委員、遠山 典宏 委員、下郷 貴広 委員、

猪切 洋二 委員、前島 道広 委員、遠山 典男 委員

(オブザーバー) 野牧 和将 上村自治振興センター所長

(事務局) 上沼教育政策課長、萩元教育企画係長、下岡教育企画係主査、

井川上村公民館主事、小島南信濃公民館主事

会議内容：

◎確認事項

① 校名等検討部会について

② 部会スケジュールについて

◎協議事項

① 遠山郷学園小学校再編検討委員会全体会議からの検討委任について

・事務局から検討委員会全体会議で確認された内容等について説明

→質疑・意見なし

② 再編後の小学校の校名公募要領(案)について

・事務局から校名公募要領(案)について説明

→募集期間について

・×切日は11月27日より11月28日の方がキリがよいという意見があったことから、募集期間を令和7年10月27日(月)から令和7年11月28日(金)までとすることに決定

→応募対象者について

・上村、南信濃に関わっていただいている人には応募してもらい、多くの皆さんの意見を聞きたいという意見や先生達にも自分事として捉えて真剣に考えてもらえればという意見があったことから、応募対象者に「上村、南信濃で勤務している方」も加えることに決定

→応募用紙への氏名等の記載について

・無記名がよいという意見を多くいただき、校名に込めた思いを大事にするという観点から、無記名で校名とその理由を応募してもらうことに決定

→一人1案の応募について

・自分自身で校名をしっかりと考え気持ちを込めて応募いただきたいという意見や一人一人が真剣に考えるということが大事という意見から、「一人1案の応募とする」ということを明記することに決定

③ 校名選定の観点(案)及び校名決定までの流れ(案)について

- ・事務局から校名選定の観点(案)及び校名決定までの流れ(案)と校名募集チラシ(案)及び応募用紙(案)について説明

→校名選定の観点について

- ・長い名称というのは個人の感覚によって違うという意見があったことから、校名候補を選定する際に大切にする観点の中で、「長い名称」の文言は削除することに決定

→応募用紙について

- ・応募する人からすれば、校名がいつ頃決定するか気になるので、校名応募用紙に決定までの大まかな流れや校名決定時期を記載してほしいという意見があったことから、校名応募用紙に大まかな流れや校名の決定予定時期を記載することに決定

④ その他

- ・校歌・校章について、率直な意見交換を実施

(2) 第2回校名等検討部会

日 時：令和7年12月9日(火) 18時55分～20時20分

会 場：南信濃地域交流センター 会議室

出席者：酒井 郁雄 部会長、村山 雅也 副部会長、小澤 倫太郎 委員、

小池 真沙美 委員、遠山 典宏 委員、下郷 貴広 委員、

猪切 洋二 委員、前島 道広 委員、遠山 典男 委員

(オブザーバー) 野牧 和将 上村自治振興センター所長、

林 優一郎 南信濃自治振興センター所長

(事務局) 上沼教育政策課長、萩元教育企画係長、三ツ井教育企画係主査、

下岡教育企画係主査、井川上村公民館主事、小島南信濃公民館主事

会議内容：

◎確認事項

① 再編後の小学校の校名公募要領及び校名選定の観点等について

- ・事務局から校名公募要領及び校名選定の観点等について説明
(詳細は別紙参照)

◎協議事項

① 再編後の小学校の校名の応募状況について

- ・事務局から校名の応募状況の概要について説明
- ・猪切委員、下郷委員から校名募集に関する学校での児童の様子を報告
→質疑・意見なし

② 再編後の小学校の校名候補(案)の選定について

→部会の中で出された校名候補(案)

- ・上和田

(理由)

- ・書きやすく、覚えやすく、みんながわかりやすい。
- ・両地区の名前を残したいという思いがある。
- ・こどもの話を聞いて、両地区の名前が入るのはいいと思う。

- ・ 上和
(理由)
 - ・ 書きやすく、覚えやすく、みんながわかりやすい。
 - ・ 両地区の名前を残したいという思いがある。
 - ・ 児童の願いと両地区と一緒に協力していくという思いがある。
- ・ 上南光
(理由)
 - ・ 上村・南信濃両地区の地区名から一字ずつ取り、光あふれ希望にみちた学びの場になってほしいという応募の理由に共感できる。
 - ・ 自分にはない発想で率直にきれいだと感じる。
 - ・ 響きがいい。
 - ・ 名称だけで考えれば、響きはいいと思う。
 - ・ 上村と南信濃という地名を使っているのでもいいと思う。和田は南信濃の一部なので、和田を使うより南信濃を使った方がよい。
- ・ 遠山
(理由)
 - ・ 小学校名は地域名がわかりやすい方がよいという理由や中学校と校名をあわせ、9年間の義務教育の一貫性が地域内外で再認識され、飯田市の小規模特認校に指定される特色ある教育の充実を、チーム遠山として2地区が支援していくことが重要という応募の理由が理に適っていると思う。
 - ・ 多くの方が見たときに上村と南信濃の地域名としてわかりやすい。
 - ・ 遠山郷学園としてスタートし小中学校の一貫性という点でもよい。
 - ・ 遠山の霜月祭りという名称を使っている点や上村と南信濃を総称しているという点で適していると思う。
 - ・ 中学校が遠山で、保育園含めて遠山でよいのではと思っている。
 - ・ 地域を誇りに思う言葉として「遠山」がよい。
 - ・ 多くの方が応募している校名で、それなりの理由がある。
 - ・ 28通の応募があり、理由もしっかりしていていいと思う。
 - ・ 一番わかりやすい校名であると思う。
 - ・ 今年生まれたこどもが中学校を卒業する15年後までのことを考えると、できるだけわかりやすく、地域としてまとまりのあるものにしたいと思う。
 - ・ 全体の流れを考えて、地域としての一体感、遠山郷学園としての一体感を考えると「遠山」がよいと思う。
- ・ 上村和田
(理由)
 - ・ こどもの意見の中で、したしみがあっていいというのはその通りで、明確に名称を残すという点でもよい。
- ・ 上村
- ・ 霜月
(理由)
 - ・ まったく新しい校名でも定着すると思うので、遠山にこだわらなくてもよいのではと思う。

→部会の中での結論

・校名候補(案)を「遠山」と「上南光」の2つに絞る。

・検討委員会全体会議で最終的な校名候補を選定する。

③ 第2回遠山郷学園小学校再編検討委員会全体会議への報告について

・事務局から検討委員会全体会議への報告内容について説明

→質疑・意見なし

④ その他

・特になし

2 校名候補(案)について

(1) 第1案

ア 校名候補(案)

とおやま
飯田市立 遠山 小学校

イ 校名候補(案)を選定した理由

- ・遠山郷学園として小中一貫教育を進めるにあたり、特色ある教育の充実をチーム遠山として2地区が支援していくことが重要という応募いただいた理由が理に適っている。
- ・上村と南信濃を総称して「遠山」が使われており、地域内外の皆さんになじみがあり、多くの方に親しまれている。
- ・遠山郷学園グランドデザインには、「遠山郷を愛し、誇りを持ち、未来を共に創る人づくり」と記されており、中学校名とあわせて「遠山」にすることで、遠山への誇りが醸成されるとともに、地域としての一体感が強くなる。
- ・誰にとっても読みやすく書きやすい校名である。
- ・多くの方から応募された校名であり、上村・南信濃の地域を表す名称として最も適している。

(2) 第2案

ア 校名候補(案)

じょうなんひかり
飯田市立 上 南 光 小学校

イ 校名候補(案)を選定した理由

- ・上村・南信濃両地区の地区名から一字ずつ取り、こどもの学びの場が、光あふれ希望にみちたものになってほしいという願いが込められた応募の理由に共感できる。
- ・既存の地名や既存の概念にとらわれず、新たな思いで、気分を一新する意味を込めて、響きの良さを重視する。

3 今後の予定

令和7年 12月17日(水)	第2回 遠山郷学園小学校再編検討委員会 － 校名等検討部会での協議結果の確認 校名候補の選定及び教育委員会への報告
令和8年 1月20日(火)	飯田市教育委員会 1月定例会 － 校名候補の決定
令和8年 1月26日(月)	南信濃地域協議会 － 校名候補の諮問
令和8年 1月下旬	上村地域協議会 － 校名候補の諮問
令和8年 2月10日(火)	庁議 － 飯田市議会第1回定例会の議案確認
令和8年 3月23日(月)	令和8年飯田市議会第1回定例会閉会 － 設置条例改正議案の議決 ※設置条例改正議案の議決をもって再編後の小学校の 校名が決定

以 上